

ういずライン 2008 No. 6 付録号

温もりのある、高齢社会について考えてみる・・・
そんな活動をつなげてみませんか

「ういずライン」とは、ういずライン～wel が発行している会報誌です。
会の詳細、引用の取扱い等については、付録号につき割愛します。



イラスト：しおわかな

いよいよ、この付録号をもって、当初の目標を達成するという節目を迎えました。固い内容の記事の間に、和やかなクッションとしてしおわかなさんの漫画を紹介してからは、毎号のように紙面をにぎやかに飾っていただきました。今回はなんと【表紙用に気合をいれました！！】と、ういずメンバーのイメージを書いていただいたのですが・・・かっこよすぎ？特化しすぎ？な人がいるとかいないとか・・・@@；
(実は、メンバーで一同に顔を合わせたことは無いにも関わらず、今回はメンバーの座談会です。(汗))

ういずライン編集メンバー7人による座談会

～インターネット活動を振り返って～

へんか

ため

ういずラインをはじめて、皆さんの周りでは何か変わりましたか？

べあ

以前よりももっと考えるようになったかな。

表に出すということ・・・ブログで書いていることにある意味 自分なりの責任が必要なんだって 自覚したというか...

それまでは好きなこと好きなように書いてた。

兼任 CM

変わった事って言えば「自分の考え」。

すぐれた実践が広く展開されているってことが実感できたこと。

それによってケアマネジメントとは何かっていうことの理解がしっかりできたということ。

ポイント

横のつながりが広がって、やふぶる¹もはじめて、固いのがかな～り柔らかくなった(爆)

当の本人は全然変わってないつもりだけど...

1 : yahoo のブログサービス。ポイントさんはもうひとつカタイブログも使っているが、両者を比較するとほとんど別人格にも見える。

どるくす

悲観的だった介護保険の未来に、あるいは、という期待が見出せるようになった。

まだまだしんどいけど。

びび

1号目がいきなり「コンプライアンス」で...@@@ ; 固いし、長いし・・・引くかなあ～って思ったら、意外にも(?)反響がよくて嬉しかったあ～つーか、ブログのお友達・・・ 思った以上に

レベルが高いあるね

向上心も高いし・・・ だから広まったのかも。

baru

ネット上の繋がりは確実に増えましたね。

リアル²も随分したし・・・

ねこさん³とは、マジメな話が「より深く考えるように」なった。

2 : 実際に会うこと。一般的なネット用語では「オフ会」。べあさんが多用して普及したと見られる。

3 : 賛同者のねこやなぎさん。

ため

ういずラインの趣旨の一つは、多分、どう社会に働きかけるかだと思います。私自身は、プロガーたちの結集ってハードルまでよくぞたどり着けたなあと思っています。

ただ、その次の制度自体に影響させるというのは、やはり途方もないハードルなのかなあとは、やはり思います。

とはいえ、全く影響がないわけでもないようですが。

ポイント

いや～確かに、賛同者って賛同するだけあって、みんなすげ～意識高い! って思ったね～

その人たちのブログの閲覧者に対しても影響を与えてるはずだし、私がずっと「できたらな～」って思ってた広範囲のボトムアップが、一気にできたのではないかと。

べあ

私は ぽっぽ⁴や兼たん⁵やどるるん⁶がゆーめーな人だなんてちいとも知らなかったからなあ。。やふぶる以外の場所の出入りはした事無かったし...

知り始めた? 当初は すげえ～ こええ～って思ったさ。

4 : ネット活動上の本名(HN)ポイント、 5 : 兼任CM、

6：どるくす、に対する、べあさんの呼び方。これだけ勝手に名前を改変しておいて、「こええ〜って思った」もなれないと思われるが。

どるくす

べあさんは・・・別格（笑）

本当は誰が相手でも平気なんじゃない？

でも、未来に希望が、って思うようになったのは、べあさんの存在がメチャクチャ大きい。

兼さんが優れた実践をやってても、あの人は特別だ、ということで済んじゃうような恐れがあるけど・・・

べあ

どるるん？ 別格ってなんじゃっ@@??

すごいなあ〜って思ったの。

それまで〜簡単に探し出せなかった答えがどこにあるのか知ってる人がいる。その場所を教えてくれる。一緒に考えてくれる。嬉しかったんだよ。

あの頃 私は いっぱいいっぱいだったから〜。

法令を読んでもその解釈がわからなかった。捉え方次第で意味が変わる。

ブログをはじめて、ういずのみんなとこうして話ができるようになって よかったあ〜。

baru

べあさん。。私はブログ始めたころから、男性陣を「師匠」として認識してましたよ。

あと、DARAさんも〜。ね

どるくす

ばるさんは、すでに師匠なんですよ。よそから見たら。

それを感じてない、あるいは感じさせないところが、また凄みかもしれない（やや意味不明か・・・）

賛同者は・・・ホントに期待以上でしたね。

質でも量でも。

ため

ネット上の繋がりはもっと活発になったほうがいいって感じですか？それとも、このくらい（リアル含み）で丁度いい感じですか？

あくまで雰囲気的な話なんですけど。

べあ

活動って ひとそれぞれ。身元ばれもブログスタンスも・・・

ういずがはじまって 明らかに繋がりは増えた。

自分を振り返ることも いろんな角度からの意見をもらえることも。

私はちょうどいいんじゃないかと思うよ。

兼任CM

丁度いいという感覚でいます。

りあるは物理的なこともあるので今のくらいがいいのではないかと考えています。

びび

私自身は十分だけど・・・

記事に書いたことを自分のことのように心配してくれたり、応援してくれたり、一緒に考えてくれたり・・・

ネットってすごいっ！って・・・しみじみ・・・

あと、「ういずライン」を印刷してスタッフに配った・・・とゆー人も多くて、感激でっす

ひろがり

ポイント

ういずラインは既にネットを介して紙ベースでもかなり広まってるみたいね〜！

ため

どのくらい、広がってる感じがしますか。

私なぞは全く感じられない環境なんで（涙）

どるくす

某巨大掲示板⁷にも（いい意味で）書いてる人があるぐらいだし。

7：はい、皆さんが想像された場所です（というより、この後で名前が出ていますが）。

びび

賛同者の多くがブログとかのトップにあげてるのって・・・すっごい影響力だと思う〜

ため

2ちゃんとかでも、結構反応はあるみたいですか。活動している以上、できればやはりみていただきたいという思いは当然に私もあるんです。

どるくす

2CHは、「ういずライン」で検索かけたときに1件だけ引っかかりました。

コ社事件⁸の前後だったかな？

たぶん、名前を挙げていない書き込みもあるような気がする。

8：平成20年6月にコムスンが訪問介護事業所の人員の不正等でクローズアップされたこと。

兼任CM

研修会などでも資料として紹介したりはしているけど、賛同ってまではいっていない。

ういずの実践って多くの現場実践レベルよりもかなりかけ離れてハイレベルって思われているようです。

ため

そもそも、オフィシャル、プライベート問わずブログで活動している人って、能動的だと思います。

そういう活動や、地域の活動にも参加していない方ってやはり多いのでしょうか。その辺りも重要な論点になろうと思います。

びび

固いなあ・・・って、ういずの記事読みながら思ってたけど・・・

気づいたら、「法令遵守のもとでやってください」なあ～んてスタッフに言うようになったんよ～

知らないスタッフが多くて・・・@@；

スタッフやナース友達に聞いたら・・・

ブログすら「面倒」「時間がない」って・・・

見る人もほとんどいないなあ

身元バレの心配・・・思ったよりなさそう

べあ

1号でかなり議論？したじゃん。

難しいのだけじゃいや～って。

バランス的にはものすごくよかったと思う。

読みやすい、取っ掛かりやすい記事から読むもん。環境を整えないと？ 難しい用語の記事は読めんもん@@；。

かなりの分量になってたけど・・・不思議ときちんと読めてた。・・・私ね。

ポイント

自分の考えを訴えることばかり考えてると、読めない、理解できない人もいるってこと、結果として逆効果にもなるってことを、ういずをはじめて改めて認識しましたねえ。

兼任CM

待っていれば手に入るものではないと思う。

自分が求め、得ようとする気持ちがあって、そこに行動が伴うこと。それを実践している人って実はそんなに多くない。

今は「転がり込んでくる」とか「待てば海路の日和あり」って感じで「受け身」になりすぎている。

べあ

一生懸命読めばちゃんと理解できるのよ？

でも～～きちんと書いてあるから・・・きちんと読まなきゃ頭に入ってこない・・・って通じる？

私・・・今考えればものすごくきわどいところにいたんだよね。

ブログはじめてなかったら知らんふりして好きなことしてたかもしれん・・・

ため

ここまで「硬い」分野って実にそうないんですよ。他の業界は今少し適当でしょう・・・

介護の世界って、まさに壮大な実験台みたいなのところがあります（全国紙1面にでかかど載ったこともあります）。

ただ、いい加減なのはまずいのは確かなんです。

どるくす

べあさんのように一人CMで、でも、べあさんのようでなくて（意味わかる？）、おまけに地域の活動（能動・受動問わず）にも無関係だったら・・・

相当大変だと思う・・・組織内にスーパーバイザーでもいれば別だけど・・・

ため

組織内スーパーバイザー・・・確かに、ネットワークが薄い人たちっていっぱいいると思います。その「薄さ」の部分で制度設計者が攻撃材料にしている事実があります。この辺りは今後強く指摘していく点ではないかと思っています。

たとえば独立型を否定するケアマネ報酬体系とか。

baru

独立型を否定されたら、ケアマネさん怒りくるうかもよ？

びび

うん。そうやねえ・・・

ため

というか、独立型を否定しているでしょう。当初から。併設事業所がないと運営できない。何とかならないのかしら・・・

個人的には第5号のとおり、制度設計者もある程度の併設事業所の営業的な役割を是としていた感じはあります。(タテマエとホンネは別という感じで)

それで、この単価でやってくれるんなら目はつむる・・・みたいな

ポイント

介護保険が始まる時の驚き！ケアマネが(自事業所のサービスも含めて)プランして給付管理するだけで、第三者のチェックが入らない。

「こんなもん、不正し放題やん！」

つまり行政の仕事を安く払い下げてるだけ。そんな感じに受け取れました。

だからこそ、ケアマネはみんなが高めあって、いうべきことを言って、地位向上していかないといけない！

日本介護支援専門員協会から脱退すべきとか、厚労省の役人の愚痴言うてる暇があったら、少しでも

他に頑張ってる人を見習わないとアカン！

そういう意味でも、ういずはかなり貢献したと思う。

べあ

おかしいのよね。

公正中立に・・・集中減算⁹なんかさ？ かなり無理がある。

利用者の選択に基づき・・・

利用者さんは「全くわからないから良いところを探してください」だもんさ。

9：居宅介護支援費の特定事業所集中減算。

どるくす

89%で減算なしの集中減算だからね。

あれは、対策を講じています、という厚労省のポーズだけ。

ブログ(特に限定記事¹⁰)に挙がってくるような事業者の質の差があるのなら、自法人だろうが他法人だろうが、本当の意味で質の高い事業者(もちろん、単に加算が算定できる事業者、とかいう意味ではなく、その利用者にもっとも適当な事業者)を集中して勤めることもあり得るのでは、と思うことがあった。

10：一般の人には公開されていない記事。ブログの種類によって機能に差があったり、そういう存在自体がなかったりする。

baru

あります。特に福祉用具業者。

来所回数に、正確さ・スピーディーさ・信頼度に意見の充実さ！

文句なしの業者にしたいのは当たり前です。

びび

キッチンとやってないケアマネがいる限り、締め付けは厳しくなるばかりだろ～なあ。。

最近では自分の事業所を紹介しない(?)ケアマネも多いんよねえ@@;

べあ

やるからにはきちんとやろうって思うよ。

そう思えば思うほど・・・苦しくなるさ。

何のためだ？ 誰のためだ？

きちんとやる・・・ってさ？ これまた人それぞれ。

担当者会議の資料を事業所に送付したら 併設居
宅のCMに

「毎回あんなことしてんの?? えらいね～」っ
て@@; ...いや... 最低限のことしかしてない...

他居宅からの引継ぎケースも・・・ 何回目玉が飛
び出しそうになったか。

きちんと・・・ って～～ なんだろう。 そう思
うとつらいわ。。

ポイント

多くの方は、きちんとやってるつもりなんよ。

私からみたら全然なんだけど(自分はやってな
いくせに)

へなちゃん¹¹みたいに、夢か理想か?ってなこと
を現実にやってる人がいるって目の当たりにした
ら、私もまだまだだ、少しでも近づかないとって一
人でも多く認識してくれたら。

11:賛同者のへなちょこさん。フルHNで呼ばれることは滅多
にない。

どるくす

質の評価って難しいですよ。今さらだけど。

厚労省は客観的な、ということで加算減算を設け
てるけど、みらくる¹²みたいなところを落とす方法、
指標って、現状ではないでしょ?

CMが匿名投票でもやったら別だけど。。

12:某ブログの限定記事中にときどき出てくる、基準もケアブ
ランも無視して勝手なサービス提供をしかねない事業者。

ため

>みらくるみたいなところを落とす方法、指標っ
て、現状ではないでしょ?

もう、専門職としての倫理しかないのかなあと。
ルールを緩める(保守)と悪用する人がでてきて、
厳しくする(リベラル)と融通が利かず本末転倒と
なる。

逆にいうと政治家や行政を使わずとも、現場の人
たちの共通理解だけで豊かな実践が可能なわけ
で、・・・でも私がそれを露骨にいったら二重にいけん
ですし。(現場の人間でない+行政の責任放棄)

兼任CM

このところ考えているんだけど、「適切なケア
マネジメント」って何なのだろう?

一つは法令を守っている(反していない)活動で
あること。でもこれは法的に最低限度のことをして
いるだけ。だとしたら法令がケアマネジメントをす
る上で本当に必要最低限度のものになっているの
か?

もう一つは利用者のニーズを充足するために必要
な支援を展開すること。これはもう何が正解なのか
は第三者には判断しようがない。第三者は何らかの
基準に照らし合わせて「適切・不適切」を判断せざ
るを得ない。

その中で適切って何をどうしていけばいいのかを
考えているんだけど、まだ明確な答えを書けるほど
まとまっていない。

びび

今現在、ケアマネを中断してるから余計に考える
ことがいっぱいある。

適切なケアマネジメント・・・

「文書」でキチンと残しておけば・・・みたいな
ところもあるし。。

かと思えば、理屈抜きで・・・

先月、2回試験外泊して自費でサービス利用した
方のケアマネさん...今月退院だから報酬ゼロ。@@;

ため

おそらく、今後は「評価」という概念が強くな
ると思います(改悪に向けて動くとしても、改善に
向けて動くにしても)

そして、評価の最大の目的は、「説明できるか」
につきるわけです。それは利用者、被保険者、国民
に対して「適切か」を説明するわけです。

そのときの基準は、いずれは「極めて客観的な」
手法、それが数値というものになるでしょう。数値
を出すには生活と支援の因果関係、少なくともかな
り強い相関関係を導く必要があります。

そして、その相関関係の方程式を導くのが専門職
か官僚か、その競争がはじまっているわけです。当
然、おいらは専門職にその競争に勝ってほしいわけ
で。

べあ

適切・・・ むずかしいね。



相反する部分がでてくるもん。利用者さんにとっての適切は法令では適切じゃない部分あるし・・・。じゃ法令の適切ならOKか？ そうはいかん・・・算定なしのこと・・・多いよね。

私～ 数字を求められてないから好きなことできるけど・・・

そうじゃなかったら とんでもないわな。

どるくす

不適切な行為の理由を考えるのもひとつの方法ですが、他者が不適切な行為に走りがちなのに、なぜ、そのひと（あるいはその組織）が適切な行為を取れるのか、ということを考えていく方法もあると思います。

例えば、べあさんの上司が、べあさんのやりたいようにやらせてくれているのは、なぜでしょうか？（社会学的には、その人がいい人だから、という答はなし、ということ。）

不適切事例に世間の耳目（そして国も）が集中しがちですが、適切事例にスポットを当ててみる、というのも必要かと思えます。

その意味でも、へなさんなど、ういずで紹介した実践例¹³は価値があると思うのですが・・・

13：3号及び5号の特集記事の各トップ記事参照。

べあ

ん？ なぜ 私の上司が・・・？？？

あ～・・・ きっと

「何言っても聞かないから」かなあ？？ ぷぷぷ 信頼してくれてるんだと思う。 信頼されて、好きなようにやらせてくれる以上は やるべきことはきちんとやろうって・・・ そう思ったんだ。

どるくす

信頼はされてると思う、当然。

あと、べあさんを「放し飼い」しておくことが、長い目で見れば、法人にとっても不利益ではない、という判断ではないか、って推測してるんだけど。

ネームバリューも、だけど、べあさんが動くことで、併設の法人職員を含めた地域のスタッフの質自体を向上させる効果・・・そういうものもないかな？

べあ

それが 地域に影響を与えるなんてありえん。

どるくす

いや、影響は与えているよ、きっと。

べあさんがいなかったら、CM連絡会でも、担当者会議（じゃなかったかな？）を「上手にやったことにしよう」って結論になってない？

CMの本分を尽くすような仕事ぶりが、所属する組織にも有形無形のメリットを与えている、という説得力のある根拠が出せたら、と思ったもので。

ネット繋がりの密度

どるくす

さて、私自身は、（ここ以外では）あまり濃密なつきあいは、こちらからは好んではしません。

今ぐらいで、いいかな。

賛同者も、全面的に私（たち）と考え方が同じでなくてもいいと思っています。

ただ、考え方や立場に差があるいろんな人々が、ういずには賛同している、というのは、もっと評価してもいいのかな、と。

ため

考えてみれば、文通とも違うし、カンファレンスとも違う。ネットの活動って、結構「ちょうどいい」みたいなところがあります。

何より匿名でオッケーですからねえ。そのかわり、ネチケットは重要なんでしょうが。

案外、ちょうどいいバランスのところに、ういずの活動はのっかっているのかも知れません。（活動のしやすさとか、適切さとか）

ポイント

ただ単に広報するだけなら、もう必要ないでしょうね。

“質を上げる”系の考えに賛同してくれる人が、他の人に「こんないいのがあるよ」ってクチコミで広めてくれる方が絶対いいから！

べあ

最終目標・・・ ちゃうな。 当初目標？
質を上げるって・・・ その単語に反応する人がす
でに 質を上げてる人だと思う。 このままじゃい
けないって思ってる人。 いっぱい考えてることが
ある人。
いろんな考え方や価値観があって～～
ホント 世界が広がったなって いつも思う。

兼任 CM

うん、もう単なる広報は必要ないでしょう。
ういずを見てくれた人が言っていたんだけど「目
標となる実践や考え方がここにある」と。
この人は自分の実践の方向性と目標にういずを用
い、それを同じような悩みを持っているケアマネに
も紹介しています。
こういう形に広がっていくのがいいと思うな。

びび

ただでさえ人数も少なく・・・
ネット人口も少ない訪看ナースが一人でも多く
「賛同」してくれて・・・
在宅医療や訪看のレベルアップにつながればいい
んだけど
同じ業界でも「訪問看護」についてよく知らない
人が多かったから・・・

ポイント

ほんっと知らない人が多いってわかった！びっ
くりした！ そんなこと知らなくてどうして計画で
できるの？って思ったけど...
こういうことは、私の固いブログだけでもそこそ
こだと思ってたけど、ういずのおかげでかな～り浸
透したやろうねえ

どるくす

訪問看護については（ついても？）、よく知らな
かったので、勉強になりました。
ところで、訪看ナースって、ネット人口少ないの？
賛同者中のナース見たら、すごい人が多いような
気がするけど・・・

ため

やはり一定の発信はしたという感触でいいでしょ
うか。
さて、見かたによっては、ういずも閉鎖された空
間、とも捉えられるんです。
ただ、これ以上、どう開放すればいいのよ（苦笑）
とも思うわけで。
あくまで冊子づくりという形態にこだわったから
こそ、1年間活動が続けられたのだと思います。

兼任 CM

一定のルールやマナーがあって、発言に責任を持
っていくことがないと「なんでもあり」になってしま
う。
となるとそれは「開かれた空間」というのではな
く「無法地帯」になってしまう。
おいらは「開かれた空間」って存在しえないんじ
ゃないかと思っています。

ため

うん、何度かもらった意見の中で、結局掲示板等
の常連さんの意見が掲載されている冊子・・・という
意見がありました。（まあ、そうでもあるんですが）
一部の人間の意見を発表する場（まあ、実際はど
んなものでもそうなんですが）といわれても、私自
身は全く構わないんですが、何となく。

びび

うーん・・・
あんまり「反論」とか、「こうしてほしい」みた
いがないけんはこないなあ

ポイント

それぞれが単独でネット活動するよりは、このよ
うに集まってやった方が何倍もの効果があるってこ
とが実証されたと思いますよ。
いわゆるクチコミっていう面も大いにありますか
らね。クチコミの場合、あんまりややこしいヤツは
入ってこれないですから。

べあ

某掲示板¹⁴だって開かれた空間のはずだよねえ？
・・・ひどいよね。 私が読んでても不快になる部分

が多い。

考え方が様々だから・・・逆に ういずの形はこれでよかったと思う。

掲示板設置しなかったことも。何かあれば編集メンバーの掲示板やブログに意見を・・・だったから～むちゃくちゃなことにはならないんだと思う。

気に入らない人は きっと読まないよ。私は志同じくする人が一緒に考えてくれれば・・・それが少しずつ広がって 波紋のような感じで・・・

そういうのが一番なのかな～って。。

14：前述の巨大掲示板とは別の、保健・医療・福祉系掲示板のことと思われる。

兼任 CM

実はネット人口って思っている以上に少ない。

自宅や職場ではネット環境が整っていたとしてもそれを活用している人って案外に少ないみたい。

ういずはネット上に公開しているけど、それはいつでも紙に印刷できる。それを可能にしている形態は理にかなっています。

ということは気に入らない人は見ない・読まない。それでいいんじゃないかと思います。

どるくす

掲示板等の常連さんの意見が掲載、っていったる人は、家族介護者の記事も読んでくれるんでしょうか？

「在宅」テーマ¹⁵で、あの3人の記事(ちびさんは専門職だけど)が載ったとき、ういずやって良かった、って思いました。

15：3号の特集記事。

たぬ

仲間内のマスターベーションと思われるのは、さすがに本意ではないんです。そう思われないだけのしかけ(書き捨ての内容にはしない)は十分したと思いますし・・・

でも、やはりそう感じられる人もいるんだろうなあと割り切りはしているんですが。

べあ

仲間内の・・・と思う人は 所詮その程度。内容なんかきちんと読んでないはず。

いろんな事を思う人がいるさ。

ココまでの活動。いつも真剣にやってきたじゃん。いろんな場面で 納得の行く形にしようって みんなで考えたはず。

これまでの発行、すごいと思うよ。その編集に関わらせてもらって～... い～のかっ@@????? だわな。ほんと@@;

どるくす

くどいかもしれませんが・・・べあさんがいなかったら、編集もここまでできてないよ、きっと。

ういずラインのありがたとか

たぬ

たとえば、ういずラインメンバーを拡充し、

1)ういずラインメンバーで「一つの論文」を作成すればいいのでは

2)ういずラインメンバーが全面サポートする掲示板を作成すれば

3)ういずラインメンバーによる「双方向の活動を展開すれば」

という意見があれば、どんな感想をもたれますか。

ちなみに、私自身は、現在の形態がベストだと思いました(過去形ならぬ実践形)

そりゃ、もっといい形態がいくらでもあると思います。ただ、「できること」が前提であると思っていますので。

びび

拡充しようと思ったら、確かにいろんなことができるかもしれないけど・・・

今はブログを中心に広まっているから(私の場合)、賛同者が離れていってしまう可能性大かも。

私自身、いろんな掲示板とか徘徊する余裕ないし・・・@@;

今の形態をもっと「膨らませる」ほうがベストかと

ポイント

1は無理があるだろうな...

2は逆に開店休業の恐れがある...

3は...イメージできない...

うん、今の形だったからこんなにもりあがったと思う。

ただ、今の形ではいずれネタ切れになってしまう。

やり方もステップアップが必要やね(具体的な案は全く考えてない...爆)

べあ

ほお・・・

メンバーで論文?? テーマを決めて?ん?

内容や形にもよるのか?? ぼっぼとびっぴ¹⁶のみたいなの?

掲示板は反対。意見があるなら推奨掲示板か個人ブログの方がいいと思う。

双方向? メンバーお互いの意見交換??

・・・日々のブログでやってみたいなの??

16: 本名(HN)びび。これまた(当然?)べあさんの造語。

どるくす

個人的には、ゆるやかなネットワークが好きなので・・・

何も中央集権的?なシステムを無理に作らなくても、と思いますが・・・

あえて言うけど、

この7人中のメンバーでさえ、意見や感性が違う、差があるところが、また強みでもあると思うので・・・編集長としては辛かったと思いますが(苦笑) この使い方はマズイですか?

で、結論は、現在の形態ベースということで。

たぬ

そう、2は現実的でないです。「開店休業」のところで、おそらくほとんど人がこないと思います。(掲示板運営ってのは、本当によほどの要因がないとしんどい・・・閲覧者がおおいとか確固たるリピーターがいるという条件)

baru

方法は今の方法でよいと思います。

一応「意見交換については、次の掲示板でお願いします」とポイントさんのFC2の掲示板にしましたが、特に書き込みが無かったようなので掲示

板の必要性は薄いのでは?

メールはどうですか?何通かきましたか?

べあ

メール?? 過去 2回だけ。

・・・こないよ～ん。個人的にくるじゃん? ゲズブ鍵とか

兼任CM

1について、仮に共同で論文を書こうと思った時にはテーマと展開に対する意思疎通を共有しておかないと無理でしょう。となるとういずのよさでもあるいろいろな意見を表明する。いろいろな考え方に基づいた実践をベースにして意思表示するっていう活動に載せていくことが難しいと思う。

2については掲示板は難しい。

3については内容にもよると思うんだけど...

結局、今の形態が一番動きやすいということだと思えます。

たぬ

1,2はやはり現実的でない...という感じですね。

3は、たとえば冊子形式というのを、より引用しやすいデータで提供するとか、そんな手段も考えられると思うのです。

ただ、私は雑誌というか本というか、そんなものを作ってみたかったので(苦笑)。pdfにしたのは、そんな思いの折り合ったところというかなんというか。

そうした冊子的なものに、固定化してみたい、っていう思いは今も当然にあります。いつか誰かが「ういず第3号のP4を引用し」とか、そんな活用をされる可能性があるわけですから。

びび

「ぼっぼ&びっぴの言いたい放題」ゆーテーマなら長論文ができるかも。(爆)

どるくす

ぜひ読みたい!

ポイント

うはは! なら、

「ぴっぴの言いたい放題&ぼっぼの言われたい放題」でしょ！（激汗）

どるくす

あ、これも読みたいでっす

べあ

・・・私も読みたいわぁ～　つか・・・生で聞きたいっ

ため

うん、私も隣のテーブルで聞き耳たてておきます。

びび

みんなのご希望あらば～～

「ぴっぴの言いたい放題&ぼっぼの言われたい放題」　かかか

ポイント

生でって？！

胃に穴があきそう...（汗）



baru

いっそ、特別累積号として

全号をまとめて、データで残す？

それか、ためさんお勧め記事をよりすぐって・・・

あ～成沢さんのはもう本になってるか・・・。

兼任 CM

で、編集長。“これから”はどうしましょう？

ため

実際に1年前から継続して活動してきたなかで、少なし、「自分として」そしてやや引いた視点でみても一定の効果があったという総合的な「評価」を編集部として、してもいいと思いますか。

当然、読者に対して「説明できる」というのが条件になります。はいです～

是非お伺いしたいのが、この部分なんです。

一つの社会活動として、ういずを展開するなかで、目標を設定したわけです。

で、その期間に達したわけですから、その活動の評価を「主観的に」「客観的に」するのはマネジメントのうえで重要なことだと思うのです。

いろいろな意見の中で総じて目標どおり（もしくは、それ以上の）成果が達成できたのでは、という内容だったと思います。どうでしょう。

どるくす

はい、それ以上の成果だったと思います。

兼任 CM

どるくすさんの言われている通りだと思います。

baru

ハイ！

（ぐぐったら、全く知らない方のブログで「どんたくを通じて知った」とういずラインを記事紹介していました。）

ポイント

すいません、正直そんなに期待してませんでした！

だからもっと本腰入れてやる必要があると思います！

びび

期待以上の成果だったよねえ～

どるくす

はい、出し方の検討を含めて、しばらく期間をおきたい気もするんですよね。

べあ

ういずラインは　当初ためさんが提案した内容以上だったと思う。

この活動を通じて得たものは想像以上だった。

この仲間も含めてね。

今後の活動については吟味の必要があると思う。

発行・内容に関してはこれまでのペースじゃかなり厳しいでしょ？　1年前とは仕事の状況が変わってるメンバーが3人もいるしっ。

この部分に関しては　再度　良く話し合いをしな

きゃだね。

継続か否か・・・も含めてね。

どるくす

べあさんに賛成です。

ため

では、インターネット活動を振り返るなかで、ういずラインという活動の振り返りが一応できましたね。

皆さん、お疲れ様でした。別にやるわけではないんですが、一応、私の本日のセクションは終了ってことで～

ポイント

しかし、それこそ7人の「言いたい放題」って感じで、誰がどうやって6号に記事まとめるんや?!(爆)

編集部員のひとりごと～

さて、最近の編集部では「キラパス!」が流行語のように使われています(笑)。また、インターセプトやカウンター、トラップや時間差攻撃?仕掛けたりと、オリンピックに出てきそうな種目に発展しそうですわ～。(多分口数で勝敗が決まるのではないかと思われるが・・・謎)。座談会の様子では、いくつもの会話内容が交錯し、その上私は女性陣に圧倒されて・・・レスポンスのタイミングが非常に遅れてしまって、、、(レスが少ない言い訳をしておこう～爆)

しかし、なんですねえ～ガソリンの高騰もやや落ち着きつつありますが、日常生活はまだまだ苦しいですよ。今後の改革でも『制度の持続性』を全面的に【費用の削減】等へ着手されては、事業所も苦しいばかりですよ。サービス価格を制限して、サービスの定額・・・。人材はなかなか安定せず・・・でも今回「労働力不足」を何とかしようと、介護労働者の低賃金にメスを入れようと模索しているようです。(税金の投入だろうか?)賃金は低いし、その割に重労働。しかし、人材の安定しない施設等には、それなりの<改善しなければならない部分>があるのではないかと思います。よくわからない加算や減算をもう少し「自浄作用」に値する形を望みたいと思います。

さてさて、ういずラインはみなさまにとって、いかがだったでしょうか?モラルハザードや費用の増大による改正。その度に増す厳しさの中、なにか少しでもアクションを起し、悪い方向に進まないよう願う気持ちで活動して参りました。非食用のコメの転売ではないが、社会問題としてあらゆる膿みは出すに尽きるのだが、一般の方にはよいイメージで介護や介護保険の関心を持つきっかけをどこかで持ってもらいたいと思います。一般の方が、このういずラインを目にする機会はないでしょうか・・・。分かりにくい制度であるし、地域によって事業所の数や質がバラバラで、しかも全国共通のツールを使っているにも関わらず、認定基準が@@?なこともあったり、なかったり・・・その上、ご当地限定のルールなどがあったり、なかったり・・・まあ、保険料も違いますし、地域の実情というものがありますので、全てが一概におかしいと言っては失礼ですか・・・??

ひとりひとりが目の前にいる方に対し、正しい事をきちんと正しく行い、その評価が正しくあるよう願ってやみません。

(baru)



ういずライン 2008 No.6(付録)
2008年9月23日発行
発行:ういずライン～wel
編集:ういずライン～wel 編集部
<http://withline.web.fc2.com/>

